

## H-1 熊野古道伊勢路

【山行日】2021年4月25日

【CL】3203 (Aチーム) 【参加者】421 694 1018 1331 1958 2096 2100 2131 2140 2188  
2196 2409 2469 2495 2505 2517 2568 2763

【CL】3008 (Bチーム) 【参加者】2752 2824 2830 2932 3008 3041 3217 3252 3334 3367  
3375 3430 3499 3524 3533 3586 3611 3613 3648

【コース】伊勢神宮 内宮 宇治橋 9:30…10:05 おかげ横丁…10:25 猿田彦神社…11:55 橋詰公園(昼食)…12:20 外宮…13:20 渡会橋東側…14:15 東屋…14:50 ミニストップ…15:30 田丸駅

名古屋駅前をマイクロバス2台に分乗し7時に一路伊勢神宮へ！東名阪と伊勢自動車道を利用して、伊勢神宮内宮に到着したのは9:30。内宮は「皇大神宮といい、皇室のご祖人の天照大神をおまつりする、わが国で最も尊いお宮です。五十鈴川の川上に千古の森に囲まれて、2000年の時を越えて古代のたたずまいを今日に伝えています。」(神宮司庁広報室)

おかげ横丁から猿田彦神社、そして市街地を歩いて橋詰公園まで歩く。そこで昼食を取り、また市街地へ。雪峰稲荷で少し休息し街道を歩く。その家々には「古市参宮街道」と染め抜いた紫色の小旗が掲げられていたり、「伊勢古市参宮道資料館」もあり、まさに「伊勢路」という感じである

外宮には12:20到着。外宮は「豊受大神宮といい、天照大神のお食事を司る豊受大神をおまつりしています。内宮創建から500年後に山田原に迎えられました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。」

(神宮司庁広報室)

正宮の東側には20年に一度行われる「神宮式年遷宮」に新たに建てるための広い「古殿地」があった。

(写真上)

筋向橋は「関西方面からの参宮道、伊勢本街道と関東・中部方面からの参宮道、伊勢街道はともに筋向橋で一つになり、ここからは整然と市内に入りました。」(伊勢市常磐町) ここから宮川沿いに歩き宮川堤公園(写真中)で宮川を眺めなが



ら、春のそよ風に吹かれながらしばしの休息。すぐ近くの渡会橋を渡って市街地から田んぼや畑の中を歩き、ポツンと立っている東屋で休息し、その後ミニストップに寄り、トイレ休憩と買い物の後、30分ほどで田丸駅(写真下)に到着。写真のモニュメントは熊野街道を辿る旅人を陶器で再現したもので、この田丸で産出された良質の粘土を使用している。

歩行距離 15.6Km、行動時間 6時間でした。(3613)